

古代東海道の駅路を歩こう！33下総・常陸編④

日 時:2009年4月5日(日)11時ごろ～16時半ごろ

集 合:JR成田線布佐駅改札付近

上野10:02→北千住10:13→我孫子10:40着、乗り換え10:46発→布佐11:02

コース:布佐駅～栄橋～徳満寺(府川城本丸跡)～来見寺～布川町道路原標～布川神社～柳田國男記念公苑～薬師堂～田中切地区～蚊もう神社門の宮(こうもうじんじゃ かどのみや)～蚊もう神社奥の宮(こうもうじんじゃ おくのみや)～大房～龍ヶ崎市上大徳～関東鉄道竜ヶ崎駅
＜街道ルート約13km＞

その他:悪天候(雨天、降雪)の場合は翌日に延期します。判断がつかない場合は主催者までご連絡下さい。

今回主催:梶川義実

沿道の見所など

布川:古くは府河と呼ばれたが、家康が鹿島神宮に参拝する途中、当地に立ち寄った際、絹川にならい布川に改めよとの命により、今の名前になった(府河を府川とする文献もある)。『利根川図志』の著者赤松宗旦(1806～1862)の生地。

徳満寺:真言宗豊山派の寺で元亀年間(1570～1573)建立。現在の位置は豊嶋氏の城跡。琴平神社とつながっている。

来見寺:曹洞宗の寺で永禄3年(1560)、当時の府川城主豊島頼継(としまよりつぐ)により開基。当初、頼継寺(らいけいじ)と呼ばれた。家康の鹿島神宮参拝の際、当時の住職が三河出身で親しかったので立ち寄った際、「私が来て見たので、来見寺にせよ」との言で名前が変わった。

布川町道路原標:旧布川町役場の前にある。大正9年3月22日茨城県告示第117号により設置。

布川神社:寛元年中(1242～1246)豊島摂津守の建立。祭神は、久々能智之命(くぐぬちのみこと)。古事記では、伊弉諾命(いざなぎのみこと)、伊弉冉命(いざなみのみこと)が生んだ木の神である。

柳田國男記念公苑:柳田國男記念公苑は、旧利根町役場跡地約2000㎡の敷地の中に、國男が少年時代を過ごした旧小川家の母屋(木造平屋建193㎡)、管理棟、國男が書物を乱読した土蔵(資料館)で構成されています(利根町HPより)。柳田國男は兵庫県生まれであるが、兄が布川で開業していた縁で少年期を布川、布佐で過ごす。利根川図志を見たことが民俗学を志すきっかけの一つになったと言われている。http://www.edu-tone.jp/yanagida.picture/kunio_yanagida.htm

田中切地区:旧街道(ふるけいどう)という地名が残る。水戸街道旧道である佐竹街道がこの地を経過し、鎌倉街道の伝承もあるので古くからの街道の要衝とみられる。

蚊もう神社:延喜式内社。孝霊天皇(神武天皇から数えて第7代目の天皇)の3年(前288)に水神である弥都波能売命(みつはのりのみこと)を、また文武天皇2年(698)には土神の波邇夜須毘売命(はにやすひめのみこと)を祀ったのがその始まり。門の宮と奥の宮がある。相馬郡総鎮守。

大房地区:長屋門の農家が多数現存する美しい集落。半跏思惟像の石仏がある。

龍ヶ崎:近世は佐竹氏の領地となったが、慶長11(1606)年、伊達政宗の領地となり廃藩置県を迎える。

参考文献:<http://tanuki-bayashi.com/tone-ponpokou/koumoujinjya/index.html> は、利根町の歴史について現地調査を踏まえた詳しいページ。